

須山地区学校再編推進協議会だより



小規模特認校



第3号

未就学児施設との
連携

中学校再編

令和8年6月発行
裾野市教育委員会

須山地区の学校再編に向けた取り組み状況をお知らせします

小学校分科会での協議を進めています

須山地区学校再編推進会の小学校分科会を2月、4月、6月に開催しました。
会議では、以下の6つのテーマについて協議しました。

- ① 須山地区の魅力について
- ② 子どもたちの実態と魅力について
- ③ 教育理念について
- ④ 小規模特認校だからこそ実現できる教育の価値について
- ⑤ 特色ある教育について
- ⑥ 地域や保護者との連携強化について



須山小学校で育てたい子どもの姿とは

協議の中で、須山小学校が目指す育てたい子どもの姿として

- ① 挑戦しようとする気持ちを持ち、主体的にチャレンジできる子
 - ② 思いやりや社会性を身に付け、他者を受け入れながら共に生きることができる子
 - ③ 一人一人が主役となり、自分の考えや個性を発揮できる子
 - ④ 須山をいつまでも大切に思い、須山の将来を考え、行動につなげていける子
- といった方向性が共有されました。

特色ある教育の段階的な検討

須山小学校の小規模特認校は、令和10年度からの導入を目指しています。

既に須山小学校では特色ある教育（須山の人・もの・ことに関わる地域を題材とした学習、農業や伝統文化に触れる体験活動、横浜国立大学名誉教授を招聘した「聴いて考えてつなげる授業」の長年の実践、日常的な幼小の交流、スキー教室など）が行われているため、現在の取組を大切に継続しながら、将来的には活動内容を少しずつ充実させる、または、新たな取組を実施するなど、当面の対応から中期的な展開、将来的な姿までを見据え、段階的に整理しながら検討を進める必要があることを確認しました。

これらの方針を提言書としてまとめ、須山小学校及び教育委員会へ提出します。

近隣の小規模特認校を視察しました

近隣で小規模特認校を導入している

三島市立坂小学校と函南町立丹那小学校を視察し、地域の特色を生かした教育活動や地域住民が学校運営に関わる取組について説明を受けました。

また、子どもたちが地域と関わりながら学ぶ環境づくりの様子も確認できました。

視察の中で、「**その学校でしかできない教育を行うことが大切**」といった話もあり、地域の魅力を生かした教育の重要性を改めて認識しました。



問い合わせ先

〒410-1192 裾野市佐野1059番地 裾野市 教育総務課

TEL: 055-995-1837 FAX: 055-993-3607

MAIL: syomu@city.susono.shizuoka.jp